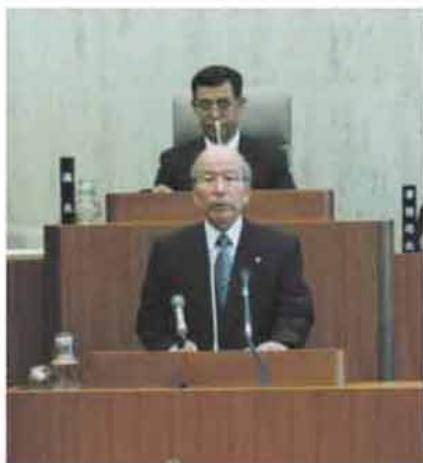


町長から意思表明の説明



町議会9月定例会で合併の意思表明をした矢嶋町長

は明らかです。これは、合併に對して慎重なお考究の方を含め、多くの方のご意見で共通していることです。ただ、そうした状況をどう乗り越えていくかについては、いろんな議論があります。

町議会9月定例会で、町長としての判断は、合併に加わる方向を示しました。

まず、「投票していないのに町長が合併といふのはいかがか」とのご意見があります。意思の表明については、町長は議会にいろいろな案を提案する時、「私は決めていませんが、みなさいかがでしょうか」という出し方は許されておりません。必ず案を出して、皆さんにご審議いただき、決定していただいている。また、町民のみなさんに、町を預かり責任を負う者としての判断を明確に表明する必要があると考えました。

次に、なぜ私が合併に踏み切ると判断したかについて、2つの点をお話します。

一つは、国の財政状況から国の補助金や交付税などが減額される事務所はどこになるかですが、新規協議会の中では、新し

いものはつくらない、他所の建物も借りないとしています。当分の間は六つの庁舎のどれかを使うことになりますので、最少の人数で中央の仕事をするため、いずれか一箇所の庁舎に寄せることがあります。したがって、分権型合併によって、今までの行政の窓口がそのまま残るわけです。

また、この「分権型合併」は、経費が節約できるだけではだめで、大きなプロジェクトの仕事が重点的にできる、さらに、財源が減つてくる中で福祉の水準を維持することなどに、集中的にお金を使つてこようという考え方があります。

次に、最終的な富士見町の意思を決定するまでの流れですが、住民懇談会で説明し、議論をいたしました後、12月7日に住民投票を実施します。

住民投票についてですが、富士見町の場合は、投票が「投票資格者の2分の1に達しない場合に開きません」ということを昨年の12月に議会で決めていたのであります。せっかく投票したのだから、聞いてみたらどうかという意見もありますが、この投票は、総会と考えていただきたい。総会は、出席者が2分の1に達しない開票の結果、合併に反対が3分の2以上にならなかつた場合は、合併に加わるという町長の意思が生かれます。

そして、町長は、この投票によってでた結果を議会にかけます。したがって、最終的に町の意思是

A 財政の悪化という状況の中で、決してバラ色ではありません。今後、お金の使い方が今以上に厳しくなることが予想されます。財政運営では、合併により個々にお金をかけるより効率がいいことがあります。さら

2分の1に達しない場合には、この投票そのものを有効と認めないということになりますので、開票しないわけです。

投票が、投票資格者の2分の1以上で、開票の結果、有効投票の賛否いずれかが3分の2以上の場

合、町民の総意の表れとして、町長はその意思を尊重して合併問題に関する可否の表明をします。つまり、「町長の考え方方に賛成しますか、しませんか」の答えが3分の2以上の場合には、事実上、町長を拘束できるということになります。なぜ3分の2以上なのかと

いうと、町長は選挙で票をいただき、一定期間、行政に携わる代表者として選ばれています。「4年間は、議会にかけてことを進めたいよ」と決められています。

これが前提ですので、「これをチエックするには3分の2以上ください」という意味です。



9月24日 先達公民館で行われた住民懇談会

住民懇談会における主な質疑と意見

【合併効果】

Q サービスを高く、負担を低くでは、バラ色に思えるが、本当にできるのですか。富士見町単独より合併したほうが収入不足にならないか。

A 財政の悪化という状況の中で、決してバラ色ではありません。今後、お金の使い方が今以上に厳しくなることが予想されます。財政運営では、合併により個々にお金をかけるより効率がいいことがあります。さら